

## 港区地域情報

なごや ほんたいへいようへい わはくらんかい へいわばし  
**名古屋汎太平洋平和博覧会と平和橋**

なごや ほんたいへいようへい わはくらんかい しょうわじゅうにねん  
**名古屋汎太平洋平和博覧会は、昭和十二年に、わが**  
 くにさいしよ こくさいてき はくらんかい かいさい  
**国最初の国際的な博覧会として開催されました。**

かいじょう かんせいじゅうにねん おわりほんあつたぶぎょう つがねぶんざ  
**会場は寛政十二年に尾張藩熱田奉行の、津金文左**  
 えもんたねおみ しんでんかいほつ あつたまえしんでん りんかい  
**衛門胤臣のもと新田開発された熱田前新田の臨海**  
 ちたいいつたい かいき

かいき  
**地帯一帯です。会期は三月十五日から五月三十一日の**  
 そうにゅうじょうしやすう  
**七十八日間で、総入場者数は約四百八十万人にもの**

こくない かくとどうふけん かいがい  
**ほりました。国内の各都道府県をはじめ、海外からも**  
 にじゅうきゅうかこく さんか とお かいがい  
**二十九カ国の参加があり、この博覧会を通して、海外**  
 にほん さんぎょう ぶんか しょうかい  
**へも日本の産業や文化などが紹介されました。**

げんざいこうほくこうえんない とっじ けんぞうぶつ のこ  
**現在港北公園内に、当時をしのばせる建造物が残つ**  
 へいわ にもじ へいわばし  
**ています。博覧会の「平和」の二文字をとって平和橋**  
 なづ とっじ きんがく  
**と名付けられています。当時の金額で約十三万円をか**  
 けんせつ いま はし か うんが  
**けて建設されました。今では橋が架けられていた運河**  
 うめた こうほくこうえんとうざい むす ちかどう はし  
**は埋立てられ、港北公園東西を結ぶ地下道となり、橋**

の上は車が行き交っています。

港図書館の建物南側の植え込みに、石が並んで置

かれています。そして石には次のような説明がされて

います。

汎太平洋平和博覧会記念石（昭和十二年）

この石は一九三七年にこの地域一帯で開催された  
名古屋汎太平洋平和博覧会の会場に設置された  
平和橋の橋桁の一部です

と書かれています。

この石もまた、当時をしのばせるものとなっていま  
す。

### 主な参考文献

- 『名古屋汎太平洋平和博覧会会誌』全三冊 名古屋汎太平洋平和博覧会一九三八年
- 『名古屋市港区誌』港区制施行五十周年記念事業実行委員会編集
- 港区制施行五十周年記念事業実行委員会 一九八七年
- 『新修名古屋市史 第6巻』名古屋市 二〇〇〇年
- 『港区史跡散策路』名古屋市港区役所 一九八九年
- 『名古屋名勝案内』名古屋汎太平洋平和博覧会 一九三七年